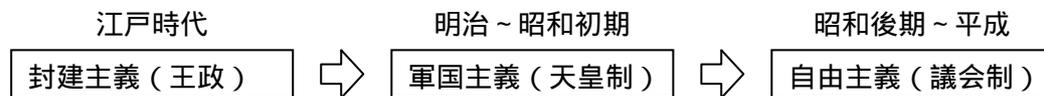


人殺しの制度「自由主義」

1 . 自由主義に至る道

1 - 1 . 自由主義に至る道 (概々要)



1 - 2 . 自由主義とは...

自由主義

他人から見たら愚かなことでもやってよい (愚行権)

ただし、他人に被害を与えることをしてはいけない (他者被害排除の法則)

つまり...「お互いの権利を害さない範囲なら何をしても自由!」

議会制・契約社会

そして、被害を受けないよう、「約束・契約・裁判・投票」する権利を持つ。

2 . 自由主義の2つの盲点

2 - 1 . 「互いの権利を害さない範囲なら何をしても自由!」の盲点

- ・自由主義という考え方が生まれた17~18世紀、人間の技術は未熟で、世界はまだまだ広がった。
- ・土地も資源も無限にある...そう、仮定しても差し支えないほど広がった。
- ・(実際、経済学のどの派も、資源(財)が無限にあることを前提として学説を展開している。)
 - ところが...
- ・人間の技術力が上がり、あらゆる全てが有限であることを意識しなければならなくなった。
- ・全てが有限 全ては「図と地の関係(ゲシュタルト関係)」 「私が使った物は、他人は使えない!」
 - つまり...
- ・お互いの権利を害さない範囲の「自由」ということは絶対あり得ない。
- ・裏返すと、自分のどんな「自由」行動は、何らかの形で必ず他人の「自由」を奪ってしまう。
- ・(宇宙船地球号：地球は閉ざされた空間(閉鎖系)なので、全てが有限です。ボールディング)

2 - 2 . 議会制・契約社会の盲点

- ・「約束・契約・裁判・投票」は被害者が加害者に対し、自分を守る手段として利用する。
- ・しかし被害者が「未来の人間」の場合、自分を守るはずの「約束・契約・裁判・投票」が行えない!!!
- ・つまり、「約束・契約・裁判・投票」は同じ時代にしか通用しない「共時的」な制度。
- ・複数の世代にまたがる「通時的」な問題は「約束・契約・裁判・投票」では解決できない。

2 - 3 . 地球環境問題が難しい理由

	公害問題（イタイイタイ病など）	地球環境問題（地球温暖化など）
影響の範囲	ある地域に限定	地球全体に拡散
影響を及ぼす時間	数日～数年	1世代～数世代
解決方法	会社を相手に「訴訟・裁判」	現在の制度では解決できない！！

3 . 「自由主義」その後...

3 - 1 . 人殺しの制度「自由主義」

・ 2 - 1 にて、自分のどんな「自由」な行動も、何らかの形で必ず他人の「自由」を奪ってしまう。
つまり...

- ・ 自分たちが出した二酸化炭素によって、地球環境*が変化し、自分達の子供へ影響を及ぼす。
- ・ 自分たちが使用したエネルギーによって、資源*が枯渇し、自分達の子供たちは使うことが出来ない。
でも...

・ 未来の子供たちは、訴訟も裁判も起こせない。

だから...

- ・ 私たちは訴訟も裁判も受けることなく、存分に二酸化炭素を出し、エネルギーを使うことが出来る。
- ・ これは「自由主義」の中では何の問題も無い行為。何しろ「自由」なのだから...

しかし、その結果...

- ・ 多くの資源・エネルギーを使い環境を汚染することで、自分達の子供を絶滅に追いやっている。
- ・ つまりこれは、親の子殺しならぬ、先祖の子孫殺し！！立派な人殺し行為！！
- ・ 自由主義は「未来は常に今より輝いているはず」という適当な「砂上の楼閣」的未来像しか持たない。
- ・ よって、今「軍国主義」が非難されるのと同様に、「自由主義」が将来非難される可能性は高い。
- ・ もともと「自由主義」自体が、アメリカの政治的・功利的な（自由貿易拡大）戦略だった。

* 地球環境や資源は、本来、誰もが公平に使用する権利を持つことから、コモンズ（共有物）と呼ぶ。しかし、共有物は「共有」であるが故に、町の集会所を解放すると荒れるのと同様、破壊されていく運命にある。これを「コモンズの悲劇」と呼ぶ。

つまり、私たちが「地球環境」というコモンズを自由主義の下で「無秩序」に搾取・破壊したため、地球環境問題が生じた。

3 - 2 . 「自由主義」その後...

- ・ しかし、現在の人類は、自由主義に代わる新たな制度を持っていない。
- ・ 封建主義は、土地の配分を基準とする制度なため、家族は代々その土地の中で生活する必要がある。
- ・ よって、コモンズでなく私有物になり、環境に優しい永続的な営みが行われる...とも言われる。
- ・ しかし人間、一度手に入れた「便利さ」を捨てることは極めて難しい。
- ・ だから皆、現状がどこか間違っていることに気付きつつ、つい便利で自由な生活を続けてしまう。
- ・ 私は現在、車無し・テレビ無し・冷蔵庫無し、の生活送っているが、これは「普通でない」らしい。
- ・ しかし、私の自由が子供殺しに繋がる...と考えた時、私はやはり余1計な自由を制限せざるを得ない。